

平成29年度 大田区立蓮沼中学校 自己評価 報告書

○ 本校の概要

【本校の状況】行事・部活動・ボランティアかつどうに積極的に参加する生徒が多く、素直な生徒が多い。一方、家庭環境に問題があり、生活習慣の乱れや学習の基礎が不十分で、問題行動を起こす生徒もいる。学校生活は落ち着いている。家庭学習の定着によって、達成感や自己有用感を持てるような景観をさせ、意欲的に何事にも取り組ませ、向上心を高めることが課題である。【保護者・地域の状況】保護者は協力的と非協力的の二極化の傾向がある。学校に対する支援を惜しまない保護者もいれば、PTA活動に消極的で、生活指導にクレームをつける保護者もいる。地域やOBは学校に対し協力的で温かく見守ってくれている。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with 7 columns: 大項目, 目標, 取組内容, 取組指標, 取組評価, 目標に対する成果指標, 成果評価, コメント. Rows include categories like 学力向上, 豊かな心を育む, 体力向上, 教育環境向上, 家庭・地域の教育力向上.

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめる。
○学校関係者評価の「評価」は、A：自己評価は適切である B：自己評価はおおむね適切である C：自己評価は適切ではない D：評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。